

国語 四—一	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① かれの一言に（元気づけられる）。
- ② （意外）とむずかしい問題だった。
- ③ 古いアルバムを見て、（なつかしい）顔を見つけた。
- ④ （さわやか）な五月の風。
- ⑤ オニから（ひっし）ににげまわる。

ひっし	意外	なつかしい	元気づけられる	さわやか
-----	----	-------	---------	------

国語 四―二	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① ゆうしようする（自信）がある。
- ② おれいの手紙を、（ていねいな）字で書く。
- ③ 自分勝手な行動をするので、（頭にくる）。
- ④ みんなの前でほめられたので、（てれる）。
- ⑤ けががなおらず、いんたいを（決意する）。

てれる	自信	頭にくる	決意する	ていねいな
-----	----	------	------	-------

国語 四―三	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① 一人でトイレに行けないほど（おくびような）子だ。
- ② すぐにめいれいする（いばった）子だ。
- ③ いつも大きな声で笑っている（陽気な）子だ。
- ④ テストに名前を書き忘れるなんて、（そそっかしい）子だ。
- ⑤ あの子は、いつも校庭を走り回る（活発な）子だ。

そそっかしい	活発な	おくびような	いばった	陽気な
--------	-----	--------	------	-----

国語 四一四	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① (有名な) サッカー選手のサインをもらう。
- ② (あきれる) ほど、うっかりミスが目立つ。
- ③ 列にわりこむなんて、(ずうずうしい) 人だ。
- ④ (はつきりした) 声で発表する。
- ⑤ 山のぼりのために (とくべつな) くつをはく。

あきれる	有名な	とくべつな
はつきりした	ずうずうしい	

国語 四―五	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

① すぐにおこる（短気な）人だ。

② （重要な）しよるいを金庫にしまう。

③ 石橋をたたいてわたるような（しんちような）たいど。

④ 勉強（ねっしんな）妹は、毎日二時間は机に向かっている。

⑤ 「まかせてね。」と、（たのもしい）返事をした。

たのもしい	短気な	しんちような	重要な
ねっしんな			

国語 四一六	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① 善悪をみきわめる（たしかな）目をもとう。
- ② 去年買った少し大きめの服が、今年は（ぴったり）になった。
- ③ まずは私たちに（身近な）問題から考えてみる。
- ④ うす暗くて（気味が悪い）道だ。
- ⑤ （わずかな）ちがいも見のがさない。

ぴったり	たしかな	わずかな	身近な	気味が悪い
------	------	------	-----	-------

国語 四一七	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① 牛にゆうをこぼして（あわてる）。
- ② バイオリンの音色を聞いて、（うっとりする）。
- ③ かれはカレーを作るとき、材料にとても（こだわる）。
- ④ おつかいをたのまれて、（しぶしぶ）出かけた。
- ⑤ いたみを（こらえる）。

しぶしぶ	うっとりする	こらえる	あわてる
こだわる			

国語 四一八	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① 明日から夏休みなので、（うきうきする）。
- ② 六月は雨が多く（うつとうしい） 天気の日が多い。
- ③ 時間を忘れるほど読書に（むちゆうになる）。
- ④ 大きな物音に（ぎよつとする）。
- ⑤ （ゆだんする）と、追いつかれるぞ。

ゆだんする	むちゆうになる	ぎよつとする
うつとうしい	うきうきする	

国語 四一九	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 から
 選び、書きましよう。

- ① おかすが一品^{びん}だけでは（もの足りない）。
- ② 漢字^{かんじ}をおぼえるのに（苦心する）。
- ③ ねこは、暗^{くら}くてせまい場所^{しよ}を（好む）。
- ④ 学校にちこくしそうになって（ひやあせをかく）。
- ⑤ いつまでも遊んでいて、（いい気なものだ）。

ひやあせをかく	もの足りない	好む ^{この}
いい気なものだ	苦心 ^く する	

国語 四十一	第三学年及び第四学年の内容 語い①	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの
 選び、書きましよう。

- ① 金メダルを首にかけ、（ほこらしい）顔つきになる。
- ② 車が（ひっきりなし）に通る。
- ③ 雨で運動会がえんきになり、（がっかり）する。
- ④ 約束を忘れないように（こころがける）。
- ⑤ （心温まる）物語を読んだ。

心温まる	あたたか	がっかり	あきら	ひっきりなし	ひら
ほこらしい	ほこ	こころがける	こころ		